

第3回中央区アート&デザインコンペ In築地本願寺

若手芸術家育成のためのオークション出品作品



LOT.01

柳とツツジ

～Inspiration from Ginza～

キリコカ

明治学院大学文学部芸術学科美術史専攻卒業

銀座の華やかで勢いがある街の中心的イメージを、中央区の木と花である柳とツツジに例えた絵です。柳の緑色とツツジの紫の色彩に、銀座の街の勢いを込めたタッチで描いた作品です。

キャンバスに油彩

350×440mm



LOT.02

木蓮

彩蘭弥(Alaya)

多摩美術大学日本画専攻卒業

街中で目にした木蓮の、大胆で力強い美しさに心打たれました。その存在感を華やかな文様と共に表現しています。

和紙に岩絵具、金箔

220×273mm



LOT.03

白銀の不定形静物

高畑 彩佳

京都芸術大学大学院芸術学部ペインティング領域修了

慌ただしく、あるいは停滞したままの時を過ごす中で、誰かが定めた正しさではなく自分の心に恥じない時を刻めるように自分を省みる、自分の軸を思い出すための装置である。

帆布、ボローニャ石膏、兔膠、箔下砥粉、プラチナ箔、青墨

200×200×40mm



LOT.04

メタボリズム(ひんやり)

TOMOMI

東京藝術大学大学院芸術学美術教育修了

浮世絵での中央区の様子と、現在の中央区の様子を比較して、変化した風景と残っている芸能・文化から着想を得て、都市の代謝をテーマに制作した。

キャンバス、油彩

455×455mm



LOT.05

この景、新の光

Amy

静岡美術造形学院卒

銀座の高級感を金色で並木道とお店を描き、昭和なレトロ感を和紙を貼り白色で風情を表現してみました。

キャンパス、アクリル、和紙

220×273mm



LOT.06

霊獣 I

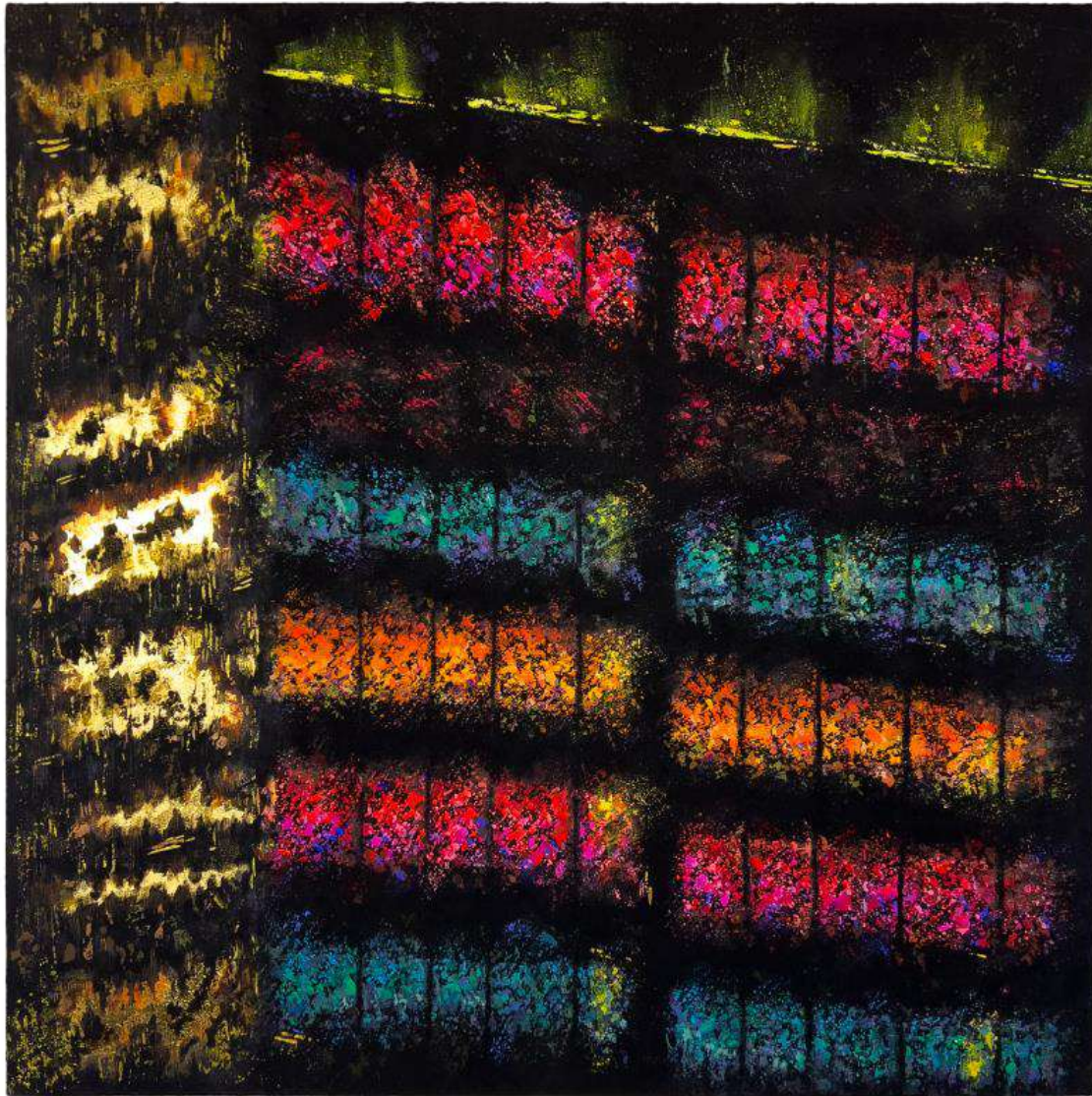
湯浅 泰将

筑波大学大学院人間総合科学研究科 芸術学学位プログラム日本画領域修了

築地本願寺にあるたくさんの動物の彫像から発想し、描きました。

雲肌麻紙、染料、胡粉、水干絵具、岩絵具

220×273mm



LOT.07

ginza afterglow / 数寄屋橋の残光

vivi & vela

米フランクリン&マーシャルカレッジ
経済学部卒業

数寄屋橋交差点に立つソニービルの1966年竣工時の姿を抽象化し、移ろいゆく都市の光を表現しました。高度成長期を象徴する建築の残像に、都市の再開発の循環の中で薄れていく光の記憶を重ねました。

木製パネルにアクリル、箔、天然砂、胡粉、岩絵具、油性色鉛筆、パステル

410×410mm



LOT.08

時の流れと共に

～With the flow of time～

キリコカ

明治学院大学文学部芸術学科美術史専攻卒業

天からの光と海面に見える光を主に描いています。築地本願寺は、昔、海だったということに着目しながら、築地本願寺が祈りの場所であることに着想を得て描いた作品です。希望や夢、光を人々に届けてきた場所である築地本願寺。画面で描いた光は、築地本願寺で色々な方々が願い事をする際に宿る光を表しました。

キャンバスに油彩

490×570mm